

美しいデザインと最高峰テクノロジーが融合した化粧品

(株) fearless

東京都渋谷区神宮前 3-3-14 Dear Omotesando2F  
URL : http://www.fearlessjapan.com

代表取締役社長 草野 淳 / 副社長 草野 治夫  
× ゲスト つまみ枝豆

「どんなモノも、デザインされていないモノは退屈」——そのスタンスで化粧品を創造する『fearless』。草野社長・副社長兄弟は、デザイン性を極めた物件を武器に不動産事業を手掛け、人気を博している。そんな二人が化粧品業界に参入したきっかけは、サーフィンなどのアクティビティが好きな草野社長が敏感肌で自分に合う化粧品を見つけられず悩んでいたこと。自身同様に日本人は敏感肌が多いため、化粧品のプロデュースに乗り出した。そこで冒頭の言葉だ。アートと融合した飾っておきたくなるデザインと、最高峰テクノロジーを注ぎ込んだ基礎化粧品で勝負。予算度外視で作られた商品ながら、モニターの間でも評判が高い。今後は、デザイン性を重視したポーチャやバックもブランド化予定。化粧品業界に新風を吹き込む。



(2018年2月取材)

遺品整理とは、時に人生に寄り添い、時に背中を押す仕事

クヨカサービス (株式会社 リベルタ)

宮城県仙台市青葉区上杉 1-16-3 JA ビル別館 5 階

代表取締役 長谷川 耕平  
× ゲスト 布川 敏和

地元の住宅資材の専門商社勤務時代の同僚たちと「何か新しいことを」と起業した長谷川社長。今では、遺品整理・特殊清掃の『クヨカサービス』として、全国に4店舗を展開している。遺品整理は最近では耳にすることも増えたが、認知度はまだ低い。尚且つ、超高齢社会である今、ニーズは高まる一方だ。また、施設入所時の荷物整理、ゴミ屋敷の整理などを遠くに暮らす家族や行政、賃貸管理会社から依頼されて行うことも多い。依頼者へのヒアリングを大切に、丁寧な仕事に徹する同社のキャッチフレーズは、「全国をキレイに！ 全国に笑顔を！」。遺品整理には暗いイメージがつきまとうが、大切な人の人生に寄り添い、また次のステップへの後押しをする仕事だ。クオリティ重視で、人材教育にも力を入れ、同事業の認知度向上に貢献していく。



(2018年2月取材)

▲中小企業診断士の資格を持ち、長谷川社長を支える兄の長谷川崇取締役役を支えて

堅実な姿勢と高度な技術力で代を超えて事業を継続

(株)井手口建設

熊本県玉名市横島町横島 8250 番地

代表取締役社長 井手口 次男  
× ゲスト 布川 敏和

1951年の創業以来、67年間にわたって土木をメインに公共工事、民間工事に携わってきた『井手口建設』。二代目・井手口社長は、高校卒業後、土木の学校を経て建設会社に勤務していたが、父親である先代が倒れたことから家業に入った。「当時は業界経験もわずか、20歳そこそこ。青二才と言われて苦労しました」と当時を振り返る。先代の他界を受け、30代で事業を引き継ぎ、今に至る。社長が重んじるのは、正直であること。取引先から無理難題を言われた時には、「できないものはできない」と毅然とした態度を貫いた。取引先の倒産の煽りを受けて危機的状況に陥った時期もあったが、危機を乗り越えることができたのも、堅実さがあったからこそ。培ってきた技術力と堅実経営を強みに、二代目として事業を守り続ける。



(2018年2月取材)

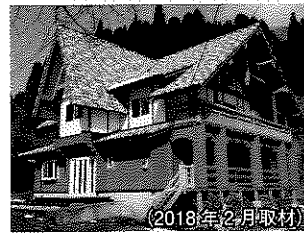
地産地消にこだわったログハウスで、地域活性化に貢献

一般社団法人 日本ログハウス協会 正会員  
鞭馬工務店

熊本県阿蘇郡南小国町中原 2168

代表 鞭馬 重隆  
× ゲスト 布川 敏和

オリジナル工法によるオーダーメイドのログハウスを手掛ける『鞭馬工務店』。鞭馬代表の祖父から父へ、そして代表へと継承されてきた歴史ある工務店だ。新築木造住宅の設計・施工を軸に据え、30年前からはログハウスづくりにも着手した。同社のログハウス最大の特長は、ブランド杉として名高い地元の「小国杉」を使用し、地産地消にこだわっている点。「日本ログハウス・オブ・ザ・イヤー」では、2008年度・2009年度と2年連続で受賞を飾り、受賞は現在までで10度を超える。ログハウスのメーカーは数社あるが、同社の製法は独自のもの。「お客様のご要望や夢をお聞きし、それをかたちにしています」と語る代表は、徹底して地産地消にこだわることで、「小国杉の流通に貢献し、地域の活性化に貢献していきたい」と意欲を見せた。



(2018年2月取材)